

第3回豊山町都市計画マスタープラン策定委員会での
主な指摘事項とその対応について

	意見・指摘事項	対応
1	<p>志水地区において、市街化区域の農地を保全し「農のあるまちづくり」を推進するという記述があるが、保全することは困難ではないか。仮に保全するならば市街化調整区域への「逆線引き」も検討しては如何か。</p>	<p>名古屋市に接した地域であるにもかかわらず、まとまった農地が残されていることから、農地を活用した公共的なオープンスペースの確保が可能であると判断しているところです。</p> <p>そもそも、まちづくりの上でも防災対策の上でも、公園等のパブリックスペースは絶対量として不足しています。結果的に農地を公園へ転用することにより公園整備を行うこととなりますので、生物の多様性をはぐくむ農地の特性を活かしてまちづくりを進めることの方が、効果的であり、環境にやさしいまちづくりにつながるものと考えています。</p> <p>「逆線引き」については、農地を残す手法としては効果がありますが、名古屋市に接した地域は、別の都市的な土地利用が図られるべきと考えています。したがって、「逆線引き」の手法は考えていません。</p> <p>人口減少、超高齢化社会では、これまでのように宅地供給は必要ありません。このことから、ゆとり＝農地というコンセプトも決して間違っていないものと考えます。</p>
2	<p>まちかど公園の整備の記述があるが、遊具中心の公園ではなく、伸び伸びとボール遊びができる、地域のわんぱくが遊べる公園が望ましいと考える。</p>	<p>まちかど公園については、規模は2,500㎡程度の街区公園を想定しています。整備に向けては、本計画の中では、位置、整備内容、管理方法等は地域の皆さんの意見集約の場を設け、進めていきたいとしています。したがって、個別具体的な公園の整備内容についてはお示しできないと考えます。</p> <p>まちかど公園の役割は、「憩い・遊び・安全」でありますので、ご意見は今後の課題と考えます。</p>
3	<p>地域づくりには住民参加・地域協働が必要であるが、そのためには地区計画の活用が有効であるが、その点をわかりやすく記述することを検討すべき。</p>	<p>ご指摘の点については、作成中の計画書に反映させるように検討します。</p>
4	<p>新たに市街化するとしている地域については、最初から地区計画ではなく、「市街化区域への編入もしくは地区計画制度を利用して」というような記述が妥当と考える。</p>	<p>ご指摘の点については、作成中の計画書に反映させるように検討します。</p>